

いわや 岩屋ダムの防災操作による河川水位低減効果

みずしげんきこう
独立行政法人水資源機構が管理するいわや
岩屋ダムは、9月19日からの降雨により増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を行いました。

この防災操作により、岩屋ダムの下流約9.3 kmにあるひがしくつべ
東沓部地点ではダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約1.68 m低減出来ました。

今回の防災操作は、

木曾川水系馬瀬川の岩屋ダム流域では、9月19日から20日までに総雨量122.2 mmの降雨を記録しました。

この降雨により岩屋ダムでは、最大流入量毎秒約477立方メートルの時に、約60%に相当する毎秒約285立方メートルの水をダムに貯留し、合計で約186万立方メートルを一時的に貯留することで、河川水位の上昇を抑える防災操作を行いました。

※今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。



令和4年9月20日

みずしげんきこう
独立行政法人 水資源機構

いわや
岩屋ダム管理所

配布先

中日新聞社萩原通信局	朝日新聞社高山支局
岐阜新聞社下呂支局	毎日新聞社岐阜支局高山通信部
読売新聞社高山通信部	CCN下呂ネットサービス

問い合わせ先

みずしげんきこう いわや
独立行政法人水資源機構 岩屋ダム管理所 所長代理 福嶋
住 所：〒509-1602 岐阜県下呂市金山町卯野原6-27
電 話：0576-35-2339
HPアドレス：<https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/>

岩屋ダムの位置図



岩屋ダムの防災操作（イメージ図）

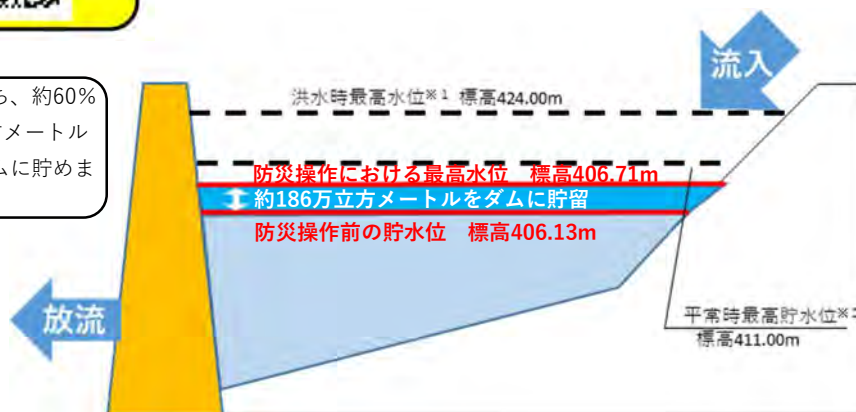


【流入量】

ダムに流れ込んだ水の量

①最大流入量 毎秒約477立方メートル

最大流入量のうち、約60%
の毎秒約285立方メートル
(①-②)をダムに貯めました。



【放流量】

ダムから下流河川へ流した水の量

②最大流入時の放流量 毎秒約192立方メートル

※1 洪水時最高水位：洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位

※2 平常時最高貯水位：平常時にダムによって貯留することとした流水の最高水位

(今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。)

防災操作によるダム下流河川水位低減効果

【東沓部地点】

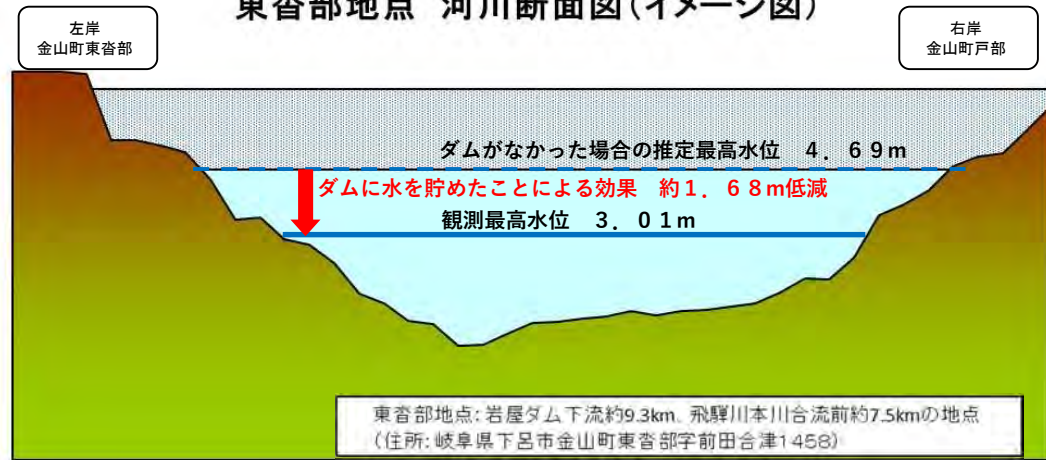
- ① ダムがなかった場合、推定で最高水位4.69mまで上昇する見込み。
- ② 岩屋ダムの防災操作により、最高水位3.01mまで抑えることが出来た。

防災操作によるダム下流河川水位低減効果

- ① - ② = 4.69m - 3.01m = 1.68m低減



東沓部地点 河川断面図(イメージ図)



東沓部地点 現地写真 (9月20日)



東沓部地点 現地写真 (洪水前)

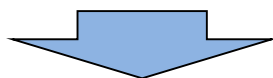


岩屋ダム貯水池状況

< 9月20日 6時頃の状況（防災操作前） >

洪水時最高水位
(EL. 424.00m)

平常時最高水位
(EL. 411.00m)

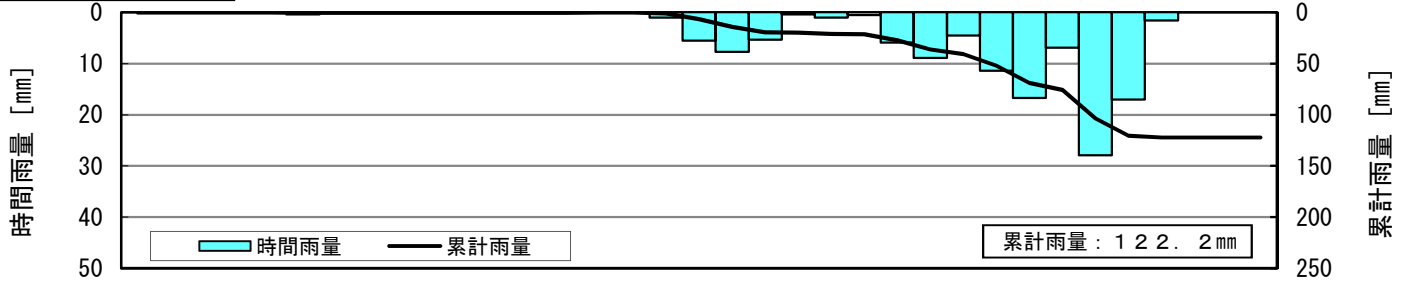


< 9月20日9時頃の状況（防災操作後・最高水位） >

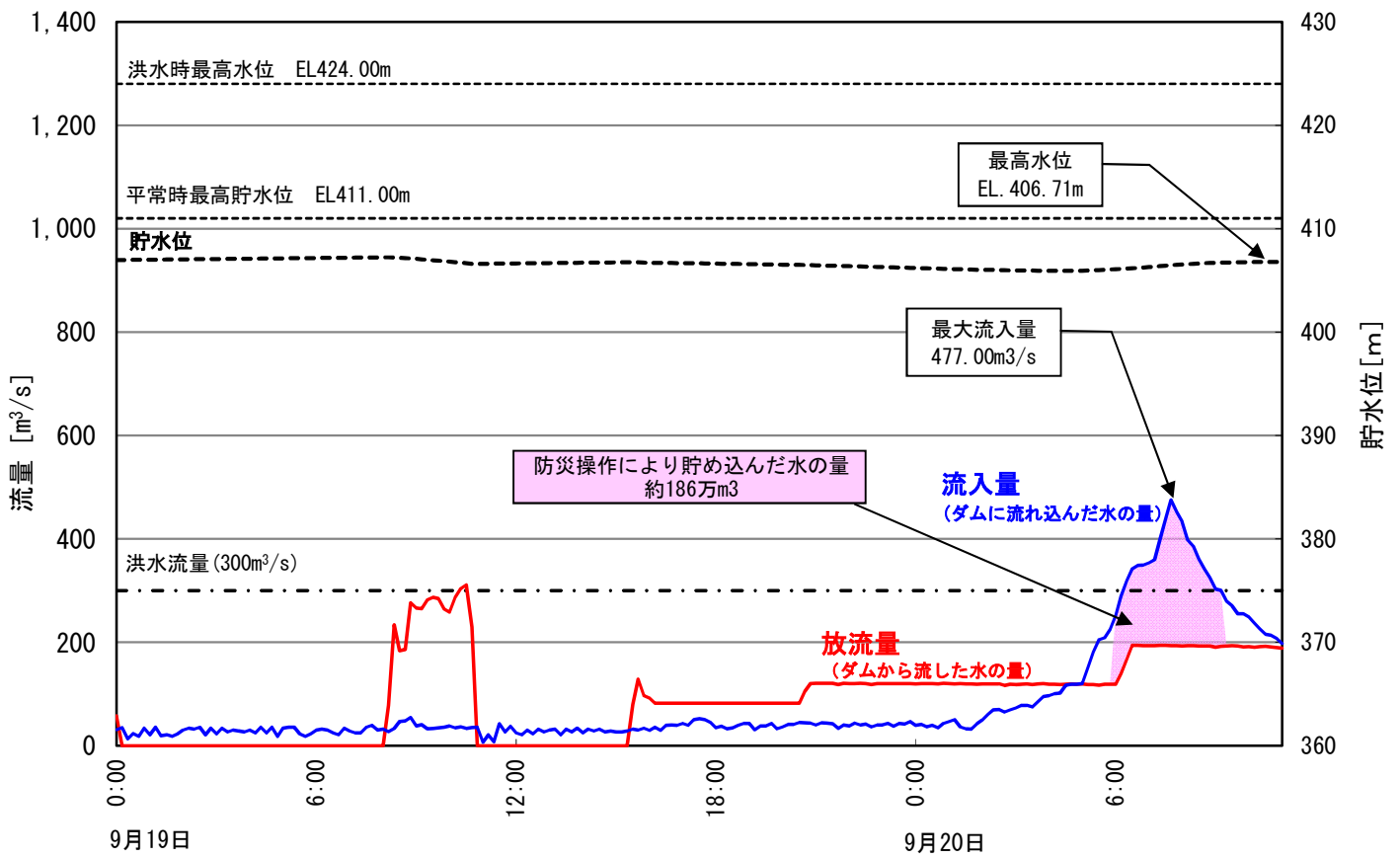


岩屋ダム防災操作図 [令和4年9月20日 洪水]

流域平均降水量



岩屋ダムの状況



東沓部地点の河川水位

